

入場無料

2020年11月7日(土)

WEB
同時配信

北海道大学

総合博物館

バイオミメティクス

市民セミナー

公立

千歳科学技術大学

オープンサイエンス

パーク千歳

共同開催
特別シリーズ

支笏湖から考える

～生態系サービスがもたらす持続可能な社会～

今、アフターコロナ・ウィズコロナ時代の自然共生と持続可能な社会のありかたが問われています。本シリーズでは、北海道民にとって身近な自然である支笏湖に着目することで、生物多様性と地勢の複雑なネットワークを基盤とする生態系がもたらす“恩恵と脅威”、その“開発と保全”、さらには“日常と非日常”の視点を通じて支笏湖の温故知新を図り、様々なステークホルダーとともに「生態系サービスがもたらす持続可能な社会」について考える対話（トランスサイエンス）の場を設けることにしました。

特別シリーズ1回目は、生物多様性と生態系サービスと人間活動についての概論を踏まえ、支笏湖生態系の成り立ちである樽前山のお話と、支笏湖デザインプロジェクトで開発した“未来を担う子供達への学習プログラム”の紹介を通じ、“支笏湖の成り立ちと未来”を考えることにいたしました。本シリーズでは、コロナ世情を勘案し、対面式講演とウェブ同時配信を行います。

第一回：“支笏湖の成り立ちと未来”



13:30-14:00

私たちの暮らしを支える生態系サービス

～風土、営みと生物多様性

香坂 玲

名古屋大学環境学研究科・教授

14:00-14:30

支笏湖のなりたち：巨大噴火がつくった陥没地形

中川 光弘

北海道大学理学研究院・教授

14:30-15:00

テクノロジーで握り下げる支笏湖の魅力

～支笏湖小学校ふるさと学習「支笏湖・山線はかせになろう」～

曾我 聡起

公立千歳科学技術大学・教授

15:00-15:30 会場との対話

主催：北海道大学総合博物館
バイオミメティクス市民セミナー

公立千歳科学技術大学地域連携センター
(オープンサイエンスパーク千歳、支笏湖デザインプロジェクト)

共催：高分子学会北海道支部
高分子学会バイオミメティクス研究会
フォトニクスワールドコンソーシアム
NPO法人バイオミメティクス推進協議会

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)

札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分

現地開催(先着45名) および ウェブ同時配信 併用の
ハイブリッド方式での開催となります

<https://chitose.town/course/view.php?id=5#section-3>

